

令和6年度の学校評価

重点目標	①児童生徒及び職員の人権を守り、多様な一人一人を認め合う学校づくりを進める。 ②児童生徒が安心安全に学習できる場となるように環境整備を進める。 ③「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した授業改善に取り組む。 ④交流及び共同学習を充実させ、卒業後も見据えた関係諸機関との連携体制を整える。 ⑤学校内外の研修の機会を通して肢体不自由教育における専門性の向上に努める。 ⑥業務内容を見直し、職員の多忙化解消を目指し教育活動を充実させる。	
	具体的方策	取組結果(自己評価)、次年度の課題
①	・人権に対する知識や理解を深める。 ・人権週間の取組を継続して、互いに認め合う意識を養う。	職員向けの研修では、学校で起こりうる事例を挙げてグループワークを行った。積極的な意見交換から知識や理解を深められる機会になった。児童生徒には、差別・偏見ゼロを目指して、自分の好きなところを掲示板に貼り、互いに認め合う活動をした。今後も学校全体として人権に関する意識を高め、継続して取り組んでいくことが課題である。
②	・防災意識を深めた実践的な訓練に取り組む。	新校舎に移転したことで、安全な避難方法や経路、避難場所を年度初めに検討することができた。訓練では、児童生徒や職員が落ち着いて避難することができていた。今後の課題としては、新校舎になったことで校舎の耐震面が強化されていると考え、肢体不自由学校の特性からも無理な移動を避けた、より安心安全な避難訓練の実施を検討していきたい。
	・緊急時や事故発生時に、素早く適切に対応できるよう情報発信、研修、環境整備等を行う。	新校舎内における教室配置や動線を確認し、緊急時や災害時に適切に対応できるよう緊急時対応訓練や非常電源シミュレーション等を行った。実際に事故が発生した際には校内放送や救急車の対応等、職員間の連携がスムーズにできた。校舎内における暑さや寒さが予想以上であったため、特に夏の熱中症対策は今後の課題である。
	・新しい環境に応じた儀式的形を計画し、実施する。 ・環境整備(総務関係)を行う。	昨年度末に作成した計画案に、実際の校舎での物の配置や動線を検討して、新しい環境に合わせて儀式を実施できた。感染症対策案も検討して備えることができた。次年度の課題は、大きく変更した卒業式の見直しとなる。校舎が新しくなったので、校内の掲示板の割り振り調整や火元責任者の札を設置するなどの環境整備に努めた。
③	・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点を取り入れた教育課程を編成し、授業の充実を図る。	学習指導要領の内容を周知し、教育課程Cの各教科等を合わせた指導、教科別の指導、自立活動等の指導時間の見直しを行い、日常生活の指導を新たに設けた。本校の教育目標と児童生徒の実態に合致しているかを今後更に議論し、授業が充実するよう努めていきたい。
	・教育活動において、個に応じた効果的な情報機器や支援機器の活用ができるようにする。	学校移転後の新環境において、児童生使用の情報機器利活用環境の調整、整備を進めた。新校舎のメリットを生かし、ネットワーク環境や利活用環境の改善を進めることができた。今年度後半に、教員用端末、ネットワーク等の大規模更改があり、ICT活用環境に大きな変化があった。その対応が今後の課題となる。
④	・進路に関する情報を家庭と学校が共有し、進路指導の充実を図る。	福祉サービス説明会では、外部講師を招き、保護者と職員を対象に障害年金についての研修を行った。新たに設立された福祉サービス事業所の情報を保護者に伝えた。進路指導では、在宅で仕事を希望する生徒のために進路先の開拓を行った。今後も、進路の情報提供の方法を工夫して行きたい。
⑤	・校内研修の調整や新たな研修を行い、職員の専門性の向上に努める。	各分掌と連携し、今年度もいろいろな研修を実施することができた。水治訓練室での活動に向けた研修など新たな研修を行うことができた。当日参加することが難しい職員向けに録画や資料の周知を行ったが、今後も研修の実施方法なども考えていく必要がある。
	・学校内外の研修の機会や相談の取組を通して、肢体不自由教育における専門性の向上に努める。	職員アンケートをもとに内容を精選して研修を実施した。日々の教育活動における疑問や不安に対し、自立活動相談で専門性の高い教員や外部専門家から指導していただいた。あおい学級のニーズにも応えられるよう連携を密にしていきたい。
⑥	・業務内容を見直し、教材研究等の時間を十分に確保する。	委員会等の会議内容を精選することで、会議時間等の短縮が図れた。その時間を有効活用することで、教材研究や児童生徒の情報交換をする時間に充てることができた。今後も形骸化している会議等があれば見直しや紙面開催等の方法を考え、教材研究等の時間を確保できるようにする。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		○人権尊重 ○安心安全な学校 ○授業内容の充実
総合評価		今年度の重点目標は概ね達成することができた。しかしながら、今後の課題も明確になったことから、課題解決に向けて学校全体で取り組んでいきたい。来年度も人権尊重や安心安全な学校、授業改善を基にして、児童生徒が生き生きと活動できる学校を目指したい。